

# 須恵

2015  
**196号**  
NOVEMBER

平成27年11月5日発行

須恵町議会だより 196号

発行／須恵町議会

〒811-2193 福岡県糟屋郡須恵町大字須恵771番地  
TEL 092-932-1151 (内線411 議会事務局)

主な内容

## 9月定例会

### 6年ぶりに歳出決算額が減 ▶2

平成26年度決算を認定

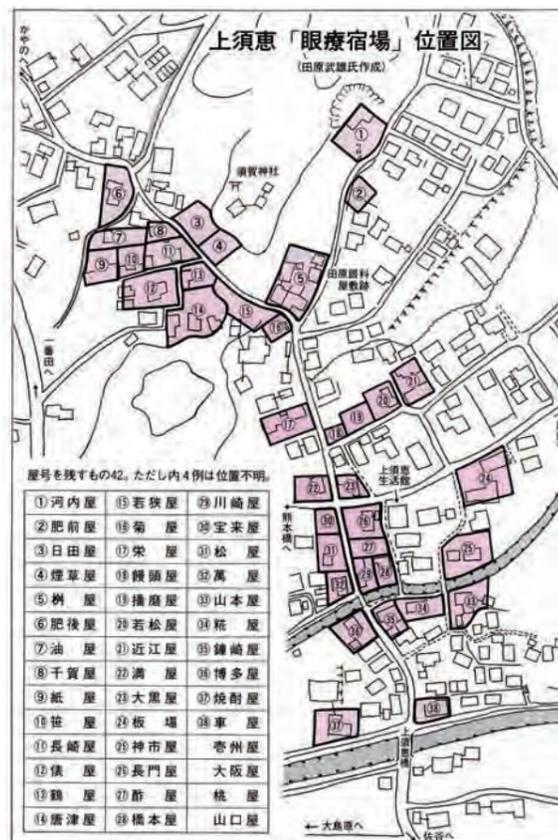
### ここが聞きたい ▶8

(一般質問)

### これ知っとう? ▶20

(上須恵 眼療宿場跡)

表紙シリーズ／未来を担う子どもたち「笑顔で給食」(れいんぼー幼稚園)



須恵町誌より

科の技術を伝えた高場順世の弟子で、糟屋郡に住み、上須恵村に田原眼科、下須恵村に岡眼科、内橋村に中村眼科という評判の高い眼科医が開業していました。高場順世秘伝の目薬「正明膏」は、紅絹に包み、貝に入れており、村人の中には製造・販売に従事する者もいました。田原眼科は、日本四大眼科のひとつに数えられ、全国各地から眼病患者が治療のために訪れました。

三ヶ村では、長期間の滞在治療をする患者たちのため、農家はいわば「民宿」を兼ねるようになります。眼療宿場は、こうして自然発生的に起こり、宿場のにぎわいを呈しました。

確認された屋号は42。国名、地名、職種、縁起、地形、商標の屋号に分類できます。

明治末には13宿場となり、大学病院など西洋医学の権威確立につれ、眼療宿場は廃れました。

小さな村が、全国から人の集まるメッカ的役割を果たしたことは、驚くべきことです。たまたまは変わりましたが、江戸時代に思いをはせ、昔をしのびみませんか。

## これ知っとう? わが町の宝物

第2回

### 上須恵 眼療宿場跡

時代は移り変わっても、守り続けていきたい自然・歴史・文化・人…。須恵町の大切な宝物をご紹介します。



石龍 豊美さん

町文化財専門委員・福岡地方史研究会の石龍豊美さんにお話をうかがいました。江戸時代中期から幕末にかけて、福岡藩には5軒の眼科医(世襲)がいました。うち3軒は、天草の浪人で糟屋の地に眼

### 編集後記

議会期間中に3か所、①山大道ため池改修工事②新法尺井堰の油圧機取替工事③アザレアホール空調更新工事の各現場を視察しました。

それぞれの現場は、山の斜面の改良工事であったり、長年使用した油圧ポンプの交換であったり、寿命が到来した空調設備の更新だったりしました。

どれをとっても、町民の暮らしや活動になくはならないものです。

このような設備の維持・保守などの管理はとても大切で、しかもコストがかかるものだと実感しました。

新たな施設や設備を作るときは、常にこの維持・保守コストを十分考慮し、より効果的・効率的な視点で吟味すべきと肝に銘じました。

白水 勝元

### 発行責任者

議長：三角 良人

### 広報特別委員会

委員長：今村 桂子  
副委員長：白水 勝元  
委員：合屋 伸好  
委員：三角 栄重